

令和7年（2025）10月 入域観光客数概況（速報）

98万5,800人
対前年（R6）同月比 +9万8,900人、+11.2%
～10月としては過去最高～

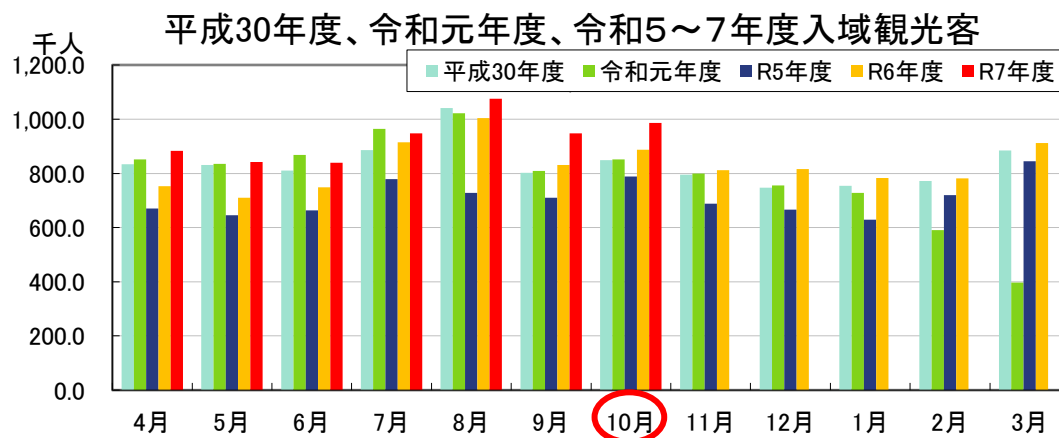
入域状況

入域観光客数（R6年度と※R元年度との比較）

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比	※R元年度
国内客	724,900人	694,500人	+30,400人	+4.4%	73.5%	620,800人
空路	721,300人	688,600人	+32,700人	+4.7%	73.2%	615,200人
海路	3,600人	5,900人	△2,300人	△39.0%	0.4%	5,600人
外国客	260,900人	192,400人	+68,500人	+35.6%	26.5%	230,500人
空路	181,700人	123,800人	+57,900人	+46.8%	18.4%	123,100人
海路	79,200人	68,600人	+10,600人	+15.5%	8.0%	107,400人
合計	985,800人	886,900人	+98,900人	+11.2%	100.0%	851,300人

※外国客には、海路における乗務員等24,800人を含む。

※外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しているため、同庁公表後の令和8年1月の公表を予定しています。



国内客 入域状況

10月は、修学旅行の入込みシーズンを迎えるほか、航空会社の増便・臨時便の運航、国内・県内発着クルーズの寄港があったこと等により、前年同月を上回った。特に、東京・関西・福岡・名古屋方面からの観光客は過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

11月は、航空会社による臨時便等があることのほか、ResorTech EXPO 2025 in Okinawa（11/13～11/14）等の県内イベントの開催や国内・県内発着クルーズの寄港が多数予定されていることから好調に推移すると見込まれる。

国内客 地域別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比	※R元年度
東京方面	355,600人	347,500人	+8,100人	+2.3%	49.1%	300,100人
関西方面	148,300人	143,200人	+5,100人	+3.6%	20.5%	119,100人
福岡方面	92,200人	87,700人	+4,500人	+5.1%	12.7%	80,700人
名古屋	60,900人	54,700人	+6,200人	+11.3%	8.4%	55,300人
その他	67,900人	61,400人	+6,500人	+10.6%	9.4%	65,600人
合計	724,900人	694,500人	+30,400人	+4.4%	100.0%	620,800人

参考：国内線経由入域外国人数 約55,600人（航空会社ヒアリングにより推計値を算出）

（注）推計値のため、国内客数に対する厳密な内数ではない。